

## 第2回審議会第1部会における委員からの意見等とそれに対する市の考え方(回答)

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
防災	【現況と課題】 若者世代への取り組みの記載はあるが、高齢世代への取り組みの記載がない。防災訓練で若者と高齢者のつながりをもたせるのはどうか。	調査結果によると、高齢世代に比べて若者世代の防災意識が低いことから、若者世代に対して重点的に取り組んでいく必要があると考えています。
	【現況と課題】 今回は、若者世代にポイントを絞るということだが、若者世代への意識付けとして高齢者の安全を守るという視点も入れていただきたい。	ご指摘を踏まえ、展開方向2の目標を、「多くの市民が防災訓練に参加することで、地域住民や世代間のつながりを構築します。」に改めます。
	【展開方向1】 家具の転倒防止等についての記載はあるが、水や食糧などの備蓄についての記載も必要ではないか。	ご指摘を踏まえ、展開方向1の指標に、「水や食料品等の生活必需品を備蓄している市民の割合」を追加します。
	【展開方向2】 指標、防災訓練の参加者数の範囲は。	小学校区の防災訓練、協働事業の自主防災会、講座等受講者、市が行う総合防災訓練及び水防訓練の総数です。
	【展開方向2】 防災訓練の質を向上させていく必要がある。	訓練内容が代わり映えのないものにならないように、訓練の主体となる地域の方と話し合いながら訓練を計画し、災害時の備えとして取り組んでまいります。

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
生活安全	<p>【展開方向1】 交通安全については最低限のルールを しっかり守らなければいけない。出前講座 等に参加しない人をどうするかが問題であ る。</p>	<p>市としても、幼稚園、小・中・高の学校等において交 通安全教室の実施、HP・広報こまき等のあらゆる広 報媒体を活用した広報、多くの市民が利用するバス 内の車内広報や大型店舗の店内放送による広報を していただくように事業者への働きかけ、事業者に 従業員に対する交通安全の啓発について依頼する 等実施しているところです。</p>
	<p>【展開方向2】 地域で取り組む防犯対策がわかるように、 モデル地区など、目に見える形で示しては どうか。</p>	<p>犯罪多発地区や駅周辺を重点地区に指定すること や子供の見守り、登下校の安全対策として、モデル 小学校区の指定など、犯罪の発生状況や社会情勢 を踏まえてモデル地区などの指定を検討してまいり ます。</p>
	<p>【展開方向2】 自主防犯パトロール隊を結成し活動してい るが、町内だけでなく、小学校単位での活 動を展開していきたい。</p>	<p>一部の地域協議会が設立されている小学校区で は、小学校区単位で防犯パトロールの活動を行っ ているところです。 今後は、HPや広報こまき等により市民へ防犯パト ロール隊の活動を紹介することにより防犯パトロ ール活動への参加を呼び掛けていきます。 また、引き続き防犯パトロール隊の活動費用に対す る補助や、パトロールに必要な犯罪発生情報を 警察署に提供する活動を支援してまいります。</p>
	<p>【展開方向2】 防犯灯や防犯カメラの設置費の補助を強 化していただきたい。</p>	<p>防犯灯については、平成31年秋頃、区から市へ移 管を受けて市が管理していく予定です。 新規設置については、地域の方々の意見を聞きな がら進める予定です。</p>
	<p>【展開方向3】 自殺についても大変大きな問題である。自 殺対策や孤独死について展開方向3に記 載してはどうか。</p>	<p>自殺対策や孤独死への対応については、第3回審 議会の第2部会で審議いただく保健・福祉の分野に おいて記載する予定です。 (基本施策「健康づくり」にて記載)</p>

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
消防・救急	【展開方向1】 展開方向の名称が基本施策の目的と同じ表現になっている。現計画の「火災予防対策を充実します」でどうか。	火災予防対策全般を進めていくことに変わりはありませんが、重点部分をよりわかりやすい表現にしたいと考えて、この名称としました。
	【展開方向1】 住宅火災原因の上位はなにか。	住宅火災に限らず全火災の平成29年中の状況は、全国的に見ると、たばこ、放火、たき火の順です。また本市では、放火、たき火、電気装置、電気配線関係を原因とする火災がいずれも4件と最も多くなっています。
	【展開方向1】 放火対策として、市民の自助を促す記載も必要ではないか。	重点的に取り組む内容を記載しているところであり、火災原因を含めた火災予防対策全般を進めていくことに変わりはありません。
	【展開方向2】 耐震性防火水槽の設置について、現状はどうか。	337基のうち132基の防火水槽が耐震化済みです。
	【展開方向4】 自主防災会の初期行動の重要性の意識を高めることも必要ではないか。	ご指摘を踏まえ、展開方向4の目標を、「自助による初期行動や共助による避難所の設営・運営が円滑にできるようにします。」に改めます。
環境	【状態指標】 大気汚染の指標の基準値が75%だが、どのような内容か。	国道41号の影響があると思われます。測定場所は小牧高校にあり、4つのうち1つが基準を上回っています。

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
ごみ対策	<p>【全体】 一般ごみは減っているが、企業ごみは減っていない。財政面で見ると衛生費43億円のうち16億円がごみ処理費となっている。企業ごみが減っていない中、事業者手数料などの負担を求めることはできないか。</p>	<p>現在、事業系ごみについては、20円/kgの処理手数料を徴収しているところです。          今後は、再資源化施設への排出を積極的に誘導することにより、小牧岩倉エコルセンターで処理する事業系ごみの減量を図ってまいります。</p>
	<p>【全体】 京都では生ごみ処理機が広く普及しており、ごみの減少に繋がっていると聞く。ごみの量を減らすことで経費が少なくなることを広報などで周知してはどうか。</p>	<p>生ごみは、燃やすごみの多くを占めており、本市でも、コンポスト容器や生ごみ処理機を購入された方に補助金を交付しているところです。今後も、燃やすごみ減少のため、本市のごみ処理状況や制度などについて、広報やホームページで周知を図ってまいります。</p>
	<p>【全体】 ごみの分別方法が自治体ごとに違う。長期的には統一できるような取り組みを進めてほしい。</p>	<p>処理の状況が自治体により異なるため、現在のところは難しい状況です。</p>
	<p>【全体】 スプレー缶に穴を空ける必要がない自治体もある。対応できる業者を探すことはできないか。</p>	<p>今後の国の方針などをふまえて検討してまいります。</p>
	<p>【展開方向1】 手段にある地域とは何を指すのか。</p>	<p>行政区、子ども会、小学校のPTA、老人クラブなどの団体を指しています。</p>
	<p>【展開方向1】 地域による自主的な資源回収活動への支援は、具体的にどのような形での支援を考えているのか。</p>	<p>子ども会など自主的に古紙古布を回収した団体に対しては、収集量に応じて奨励金を交付しています。また、平成31年4月からはごみ集積場に排出された古紙古布の売却益を区に還元していく予定です。</p>
	<p>【展開方向1】 桃花台地区では缶を収集して収益があるが、そのようなイメージでよいか。</p>	<p>古紙古布については、缶ほど買取価格が高くなく、また今までの排出回数、場所を維持するため、市が収集業者に一部助成することによって、地域に還元していく予定です。</p>
	<p>【展開方向1】 小牧市はごみ政策が進んでいる。可燃ごみもずいぶん減っている。地域に還元するもの大きな方向付けである。</p>	<p>引き続き、ごみの減量化、資源化に取り組んでまいります。</p>
	<p>【展開方向3】 緑道や公園はきれいだが、ペットの糞の後始末が問題である。</p>	<p>今後も周知、啓発に努めてまいります。</p>

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
シティプロモーション	<p>【全体】 現計画にある中心市街地の活性化について記載がない。ハードソフト両面からの取り組みが必要と考えるが、次期計画ではどのように記載するのか。</p>	<p>第3回審議会で審議いただく都市基盤の分野において記載していきたいと考えています。 (基本施策「市街地整備」にて記載)</p>
	<p>【展開方向1】 新図書館は、人々が集う楽しい場所として期待している。 小牧駅周辺から小牧山まで、点ではなく面で考えていく必要がある。</p>	<p>関係団体とも協力しながら、今後進めてまいります。</p>
	<p>【展開方向1】 小牧山は観光の目玉の一つだが、大山廃寺など眠った観光資源をいかに掘り起こしていくかも重要である。</p>	<p>観光資源の掘り起こしは大変重要であると考えています。</p>
	<p>【展開方向1】 名古屋コーチンの発祥の地としてPRしているが、まだまだ知らない人が多い。</p>	<p>小牧市観光重点プランの3つのキーワード(小牧山・名古屋コーチン・航空宇宙産業)の1つとして観光振興基本計画に基づき、市内取扱店舗の拡大やイベント・プロモーションなど重点的に施策を展開しています。</p>
	<p>【展開方向2】 イベントやまつりには、二通りの考え方があり、市民のためのものと、市外の人を呼び込むものがある。観光の観点からは、こまきの魅力を広く伝え、集客することが必要と考えるが、どのように考えているか。</p>	<p>市民を対象とするまつりとしては、市民まつりがあり、市外からの誘客を目指すまつりとしては、春のさくらまつりや秋の夢夜会があります。ポスターやチラシを市外で配布しているところであり、これからも近隣市との連携を含めて情報発信してまいります。</p>
	<p>【展開方向2】 市民会館でイベントを開催しているが、満員になることは少ないのではないかと。市外の人でも購入できるようなチケットの販売方法等を検討する必要がある。</p>	<p>生涯学習の分野にて検討してまいります。 (基本施策「文化・生涯学習」にて記載)</p>

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
農業	【全体】 長期的な視点を入れた魅力的な展開方向が設定できるとよい。	地場農産物の消費拡大につながるよう、JAと連携し、地産地消の推進に努めてまいります。また、市民菜園など農業にふれあえる環境づくりに努めてまいります。
	【全体】 鳥獣被害対策について、展開方向として位置付ける必要はないか。	有害鳥獣による農作物への被害を防止することについては、展開方向1の農業経営の安定化の支援に繋がるものと考えています。 なお、農作物の被害を防除するための事業については、鳥獣被害防止計画に基づき対応してまいります。
	【状態指標】 鳥獣被害について、どのような対策を考えているのか。	現在は地域の猟友会に委託して対応しています。今後は地域に協議会を設置するなどして対策を検討してまいります。
	【展開方向1】 後継者不足は深刻な問題。もう少し対策が充実するとよい。	新たな農業の担い手の確保は重要な課題の一つです。農業委員と農地利用最適化推進委員の連携のもと、地元で新たに農業を始めようとする人の架け橋となるよう、また県やJAと連携し、新たな農業者の掘り起こしに努めてまいります。
	【展開方向1】 実家が農家でも、子供が跡を継がない。農家ではなく農業経営という視点から、特徴を持った農家を育てる必要がある。	新規農業就業者、認定農業者に対して補助及び融資制度の情報提供を行っています。特徴を持った農家の育成は、生産物の付加価値につながるものと考えられるため、今後も農業者の育成に努めてまいります。
	【展開方向3】 指標に藤島市民菜園の利用者数があるが、利用者数を増加させることは非常に難しいと考える。	市民が身近に農業にふれあえるよう市民菜園や収穫体験ができる環境づくりに努め、農業への関心を高め、食育の推進を目指しています。今後も、市民菜園事業のほか、地産地消を推進するイベントなどを開催し、農業の魅力の発信に努めてまいります。

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
商工業	<p>【全体】 大企業に人が流れたり、地元から離れていくことを防ぐためにも、地元企業を優先的に活用するなど、地元企業を大切にす る取り組みはできないか。</p>	<p>地元企業の活用は大切なことであり今後検討してまいります。</p>
	<p>【展開方向1】 産業立地戦略会議では、工業用地の確保が難しいと聞いたが、この問題はクリアしたのか。</p>	<p>条例制定等にて規制緩和を行い、また、民有地の所有者とも定期的に情報交換を行いながら、用地の確保を図っています。工業団地の整備についても、他市の取り組みの調査研究をしています。</p>
	<p>【展開方向2】 「こまき新産業振興センター」には期待している。しかし、現在は小規模事業者の減少が課題である。小牧市には多くの補助メニューがあり評価しているが、活用していくことが問題である。真に必要な事業者に活用してもらうための手段についてどう考えているか。</p>	<p>補助制度も4年目になり、少しずつではありますが周知できています。今後も関係者の意見を聞きながら使い勝手のよい補助制度を検討してまいります。</p>
	<p>【展開方向2】 「こまき新産業振興センター」はどのくらいの規模なのか。</p>	<p>平成31年4月の開設に向けて準備を進めており、商工会議所1階の児童センターがあったところに設置します。センター長、コーディネーター、アドバイザーなどの配置を予定しています。</p>
	<p>【展開方向2】 小牧の魅力ある商工業をアピールすることが必要である。展示などができるとよい。市民に夢を持ってもらうような取り組みを進めていただきたい。</p>	<p>展示スペースの常設の場所は予定していませんが、産業フェスタ等を通じて、市内企業の魅力を発信してまいります。</p>
	<p>【展開方向2】 記載する必要がないが、コワーキングスペースがあるとよい。</p>	<p>センターは集まる場とは想定しておりません。</p>
	<p>【展開方向3】 指標の起業者数の4人は少ないのではないか。</p>	<p>起業者数の4人は、セミナーに参加した人のうち起業創業した人数となっています。</p>
	<p>【展開方向3】 指標に「セミナーに参加した人のうち」と記載すべき。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、展開方向3の指標を、「セミナー参加者の起業(創業)者数」に改めます。</p>
	<p>【展開方向4】 中小零細企業の最大の課題は雇用である。求人のサポートを手厚くしていただきたい。</p>	<p>重要な課題であり、現在の取り組みとしては小牧ふるさとハローワークを設置しています。商工会議所ともさまざまな取り組みをしているところであり、今後も調査研究をしてまいります。</p>

第3回審議会第1部会における委員からの意見等とそれに対する市の考え方(回答)

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
市街地整備	<p>【全体】 人口減少や高齢化が急速に進んでいる桃花台に対して積極的に関わっていくことが必要であり、指標に桃花台の歩行者通行量を設定したのは評価できる。今後も桃花台地区の活性化につながる取り組みを期待している。</p>	<p>桃花台における少子高齢化の進展については課題として認識しており、現在進めている小牧市都市計画マスタープランの改定作業の中で、桃花台のあり方については個別に検討しているところです。</p>
	<p>【状態指標】 居住誘導区域はどこを指すのか。どこかに注釈を入れた方がよいと思う。</p>	<p>居住誘導区域については、平成29年3月に策定した立地適正化計画において位置づける区域であり、名鉄小牧線沿線地区、桃花台地区、藤島地区などを設定しています。 ご指摘を踏まえ、注釈等で標記することとします。</p>
	<p>【展開方向1】 目標に「集い・滞在し・交流できる空間」や「居心地の良いやすらぎのある空間」の創出とあるが、具体的にどのような計画があるか。</p>	<p>小牧駅前広場等の整備について、駅西駅前広場の南側は、駅前の好立地を活かした「新たなにぎわい空間」を創出するため、人々が集い・滞在し・交流できる空間としてオープンな広場を確保し、オープンカフェやイベント開催など民間活力を活用した整備を実施したいと考えています。 また、駅東公園は、パークPFIによる整備手法を検討し、芝生広場など人々が集うことができる居心地の良いやすらぎのある空間を整備したいと考えています。</p>
	<p>【展開方向1】 小牧原駅前の整備はどう考えているか。</p>	<p>小牧原駅前の広場については、土地がないということもあり、桃花台線が撤去された際には、検討していきたいと考えています。</p>
	<p>【展開方向1】 田県神社前駅は、道路をまたいでいることに問題がある。現在ある公用地に移設させることが重要だと思う。</p>	<p>田県神社前駅の移転につきましては、市から名古屋鉄道(株)に対し多額の費用負担が生じることなどの課題があり、現時点では移転可能な状況に至っていないものと考えています。</p>
	<p>【展開方向2】 指標にある「土地区画整理事業の施行区域内の道路整備率」の基準値81.7%について、100%が当然だと思うがどうか。</p>	<p>基準値は平成29年度末時点での整備率です。</p>



基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
都市交通	<p>【全体】 現計画と次期計画では、指標の違いが大きくある。定量的な数値で測れるのも大事だが、市民目線でのチェックが抜け落ちてしまうのではないか。</p>	<p>展開方向ごとに設定する指標としては、いわゆる成果指標を設定することとしています。この成果指標とは、市の事業により得られた成果を測る指標のことです。ご指摘のとおり、市の施策に対する市民目線でのチェックも大切なことではありますが、次期計画では、市の施策で得られた成果を客観的に分析評価できる指標を置くことを優先したいと考えています。</p>
	<p>【全体】 現計画の手段に「デマンド交通の導入を実証実験の結果に基づき検討します。」とあるが、実際に実証実験はなされたのか。</p>	<p>実証実験を行い検討した結果、小牧市では行わないことになりました。</p>
	<p>【展開方向1】 バスが通らない地域があるという話がある。コースを増やすのか、計画改善をして100円を徴収するとか、現在の経営規模を大きくして何とか対応できないかという声があるが、現在の状況はどのようになっているか。</p>	<p>65歳以上は無料としており、料金だけの収入では成り立たず、年間のバスの運行経費として運賃収入を除くと3億3,000万円かかっています。各家庭より500m圏内にはバス停はありますが、バス停が近くにほしいという意見はもらっているところです。現在平成32年を目標にコース再編を含めた検討を行っています。料金体系についても、市民アンケートを踏まえて検討している段階です。</p>
	<p>【展開方向1】 一番重要なのは、持続可能かということである。市は3億3000万円負担しているが、ここまで負担しているのは近隣都市にはない。持続可能な制度にするには、65歳といえども、ワンコインくらいはご負担いただく必要があるのではないか。</p>	<p>料金体系について、受益者負担という考え方もあるので検討していきたいと考えています。コースについても、より効率的効果的になるよう設計してまいります。</p>
	<p>【展開方向1】 料金体系について、65歳以上全員無料というのは見直すべきである。運行について、1回利用したがもう利用することはないと思う。その理由は、1つはバスの間隔が長い。1時間待てない。2つ目に、回り道するので、所定の時間の倍かかる。利便性から考えると、1時間しかも回り道するやり方が本当にいいのか。65歳以上もお金を払うことも念頭に、基幹ルートだけでも15～30分に1本走らせることはできないのか。利便性を高める工夫をしてほしい。</p>	
	<p>【展開方向1】 桃花台は道路が整備されているので、自動運転のバスのテストをしていただくことを提案したい。また、桃花台は坂が多く自転車での移動が大変である。子育て世代を対象に、電動自転車のレンタルがあってもよいのではないか。</p>	

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
都市交通	<p>【展開方向1】 先ほど意見が出た自動運転についても検証するのであれば、計画に記載する必要がある。</p>	<p>現時点において本市単独で自動運転に関する事業を実施する予定はありませんが、本市も愛知県が設置した「あいち自動走行実証推進コンソーシアム」に参加し、情報収集に努めており、自動運転に関する国の動向を注視してまいりたいと考えています。</p>
	<p>【展開方向2】 巡回バスの1日平均利用者数は1,901人だが、そのうち65歳以上の利用率はどうか。</p>	<p>65歳以上の利用率は7割弱です。</p>
道路	<p>【展開方向1】 小牧は東西の交通網が弱い。小牧市と近隣の道路整備を促進してほしい。県の管轄だと思うので、県に要請をしていただいで早急な整備をお願いしたい。</p>	<p>小牧市としても商工会議所と連携して、愛知県に対して要望活動をしています。今後も、近隣及び商工会議所と連携取りながら要望活動を続けていきたいと考えています。</p>
	<p>【展開方向2】 自転車は道路を走りづらい。交差点のたびに段差がある。ベビーカーや車いすの方には交差点の段差は苦痛である。ぜひ歩行者やベビーカーにやさしい歩道のモデル地区を作って、普及の第一歩にしてほしい。</p>	<p>市としても順次整備していますが、土地を購入しての整備は進めづらいことから、市では公共用地をいかに利用するかということで進めています。バリアフリーについては、小牧駅前線では歩道5mを確保し、電柱の無柱化も進めています。小牧駅前に関して、無電柱化を考えながら、バリアの解消を進めてまいります。</p>

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
上下水道	【展開方向2】 評価シートの展開方向1に「市内の水源地でも水質異常の事例が増えてきている」とあるが、原因は何であって、その対策についてどのように考えているか。	水質異常は、平成20年以降では3回発生しており、原因としては浄水場で大腸菌検出の疑いがあったことや鉄の基準値を超えたことなどであり、その都度取水を停止し必要な対策を実施した後、安全が確認でき次第取水を再開しています。
	【展開方向2】 どういう状況にあるのかをしっかりとつかんでいただいて、問題にどう対策していくかをお願いしたい。	水源から給水栓に至る総合的な水質管理を定めた水安全計画に基づき、早期の発見とその対策に努めています。
	【展開方向4】 水道事業の民営化がニュースになっているが、小牧市では企業会計として安定的に運営してもらうことが基本だと思う。有収率はどれくらいか。	有収率は約93%です。
	【展開方向4】 小牧市の上水道について、災害対策はどうなっているか。	災害に対する計画に基づき対策していますが、近年災害の規模が変わってきていますので、適切に見直しをしてまいります。
	【展開方向4】 小牧市の上水道の一番大きなリスクは何か。それにどう対応しているか。	視点によって変わりますが、ひとつは、大災害に対するもので、いかに事前に想定するかというのが大事であります。また近隣、全国と連携する仕組みを含めて対応してまいります。
	【展開方向4】 配水管の耐震管率が低いと思うが、どのように指標を上げていくのか。	上水道全体で872kmあり、平成29年度末で193km耐震化済みです。耐震管率は、1年で1%程度進んでおり、主要幹線を優先的に進めています。費用面の課題もありますので、計画的に進めてまいります。
河川・水路	【全体】 市でできることは限られているものの、抜本的な解決には30～50年かけて取り組まないといけない。	新川流域において、近隣含めて協議会を設置し、30年スパンで対策を進めています。貯水に関しても雨水調整池の整備を行っています。小牧市においては、3年に2個程度貯留施設を整備するなど、河川の整備と貯留をセットで進めています。
	【展開方向2】 雨水貯留施設の整備については、行政だけでなく、企業や個人にも呼び掛けて、数が増えれば効果がある。市民に呼び掛ける努力が必要である。	小牧市では、各家庭での雨水貯留設備に対して補助を出しています。また民間に対しては、500㎡以上の農地を埋め立てた場合、一定の浸水施設をつくらなければならないという法律があります。

基本施策	委員からの意見等	市の考え方(回答)
公園・緑地・緑道	<p>【全体】 サッカーやキャッチボールができる公園がない。一方、土日には小中学校の校庭が空いている。一般開放できないか。</p>	<p>都市公園については、野球グラウンド等を整備しています。 学校の校庭の開放については、現在は一部の学校で開放しているところです。</p>
	<p>【現況と課題】 企画段階から地域住民が参加するワークショップとあるが実績はどうか。また造った後の管理運営について民間や地域で行っている例はあるか。</p>	<p>今年度については2件、ワークショップを開催しています。ワークショップの例としては、基本的に4回実施しており、3回はレイアウト等の意見をいただき、4回目で管理運営について議論しています。都市公園は地元管理を原則としており、公園完成後は地元の区に管理を委託しています。</p>
	<p>【展開方向1】 市の個別計画として10㎡/人の目標があるが達成できるのか。</p>	<p>現在7.6㎡/人で、計画されている公園全て作ったとしても正直厳しい状況です。今後は、新しい公園を造るというよりは、維持管理に力を入れつつ、地元の要望や区画整理地内の公園整備を進め、10㎡/人に向けて進めてまいります。</p>
	<p>【展開方向1】 高齢者の健康維持ということで、公園に健康遊具を入れることを考えてほしい。</p>	<p>新しい公園には、ワークショップを踏まえて健康遊具を取り入れているところです。既設の公園についても、遊具の更新時期と重なれば検討してまいります。</p>
	<p>【展開方向1】 四季の森について、こどもが遊ぶ遊具がない。</p>	<p>四季の森については、わんぱく冒険広場があり、遊具は充実していると思いますが、老朽化の際には検討してまいります。</p>
	<p>【展開方向2】 公園の中には、利用者がほとんどいないところもある。全く利用されていない公園に対する対応策はあるか。</p>	<p>改修の際は、来ていただける公園となるよう努力しています。魅力がないということについては、地元の方から意見をいただいて、前向きに検討してまいります。</p>
住宅	<p>【全体】 人口減少や高齢化などで空家が増えている。小牧市の空家対策の現状と対応策はどうか。</p>	<p>昨今空き家が問題になっていきますので、空き家に関する記載は今後検討してまいります。</p>
	<p>【全体】 県営住宅などバリアフリー化を促進することは市としてできるのか。集合住宅・賃貸マンションはバリアフリー化していないので、魅力に乏しく空家になっている。市としてできない部分は関係機関に働きかけるなど努力をしてほしい。</p>	<p>市営住宅・県営住宅も入居率はほぼ100%ですが、バリアフリー化されていない部分もあります。市営住宅については、計画的にバリアの解消に努めており、県営住宅についても、機会があるごとに県へ要望しています。</p>
	<p>【全体】 東田中、北外山、岩崎県住は、建て替えられてたが、桃花台の県営住宅は、かなり空家がある。URについても関係機関を通じて働きかけをする必要がある。</p>	<p>関係機関と調整してまいります。</p>